

## 健康と安全だより

令和2年7月号  
保育園コスモス

梅雨が明けるとこれから暑さも本番になります。食欲がなくなったり体力も消耗しやすいため体調管理が大変な時期です。熱中症には十分注意して生活しましょう。  
7月1日はプール開きです。水遊びは体がとても疲れるので、園ではたっぷりと休息、睡眠をとれるように過ごしていきます。

### ☆5・6月のほけん☆

手足口病2名、水ぼうそう2名、とびひ2名、溶連菌感染症1名でした。新型コロナウイルス感染症の疑いのある子はいませんでしたが、感染予防のためにお休みしている子が数名いました。

内科健診の予定が決まりました。

1回目 07月16日(木) 12:15~

2回目 11月12日(木) 12:15~ です。

なるべく当日に受診できるようにご協力お願いします。

※状況により延期になる場合があります。



### 夏に多い感染症



手足口病、ヘルパンギーナ、プール熱などの夏風邪や、水いぼ、とびひなどの皮膚炎は夏に流行しやすい感染症です。  
症状があったら、まずかかりつけ医へ電話で相談してみましょう。診察が必要な場合は診察方法をよく聞き指示に従ってください。登園再開には治癒証明書や登園届などの提出が必要な場合がありますので、職員までおたずねください。

## 遅らせてないで！子どもの予防接種と乳幼児健診

予防接種や乳幼児健診は、お子さまの健やかな成長のために一番必要な時期に受けていただくよう、市区町村からお知らせしています。

特に赤ちゃんの予防接種を遅らせると、免疫がつくのが遅れ、重い感染症になる危険性が高まります。予防接種と乳幼児健診は、遅らせずに、予定どおり受けましょう。

乳幼児健診は、子どもの健康状態を定期的に確認し、相談する大切な機会です。適切な時期にきちんと乳幼児健診を受け、育児で分からないことがあれば、遠慮せずに医師、保健師、助産師などに相談しましょう。

### なぜ、予防接種や乳幼児健診を遅らせてない方がよいの？

予防接種のタイミングは、感染症にかかりやすい年齢などをもとに決められています。

特に、生後2か月から予防接種を受け始めることは、お母さんからもらった免疫が減っていくときに、赤ちゃんがかかりやすい感染症から赤ちゃんを守るために、とても大切です。



### 新型コロナの流行で予防接種を受けそびれました。どうすればいい？

受けそびれてしまった場合は、できるだけ早く受けましょう。新型コロナウイルス感染症の流行後に、外出自粛要請などの影響で、規定の期間内に予防接種を受けられなかった方でも、公費接種を受けられる場合があります。まずは厚木市役所またはかかりつけ医にお問い合わせください。  
特に、生後2か月から予防接種を受け始めることは、お母さんからもらった免疫が減っていくときに、赤ちゃんがかかりやすい感染症から赤ちゃんを守るために、とても大切です。

